

河川工作物アドバイザー会議の経過報告・今後の予定

1 令和2年度（2020年度）河川工作物 AP 会議の開催状況

以下のとおり、2回実施した。

- (1) 第1回会議（令和2年9月28日（月）～9月29日（火）羅臼町・斜里町）
現地検討（羅臼町・羅臼川、チエンベツ川、サシルイ川）及び室内会議（斜里町）を行った。
- (2) 第2回会議（令和3年1月19日（火）札幌市）
長期モニタリング調査報告・総括評価、ルシャ川取組、第二次検討ダムの改良について議論を行った。

2 第43回世界遺産委員会決議の対応について

第43回世界遺産委員会決議に関する保全状況報告書を提出した旨を報告した。

3 長期モニタリングについて

- (1) オショロコマ長期モニタリング調査
今年度は知床半島42河川の7月～9月の河川水温の計測、12河川の採捕調査結果及び環境DNA調査結果を報告し、今後の調査の検討を行った。
- (2) 長期モニタリング計画の評価項目の評価
総括評価における「管理施策に関する課題」、「今後の管理の方向性」について議論を行い、現在の評価項目（基準）が改善されるような記述を追加することとなった。

4 ルシャ川取組について

- (1) ルシャ川ダムの改良
第3ダム幅40mの切下げ(H=2.5m)が完了した。来年度の工事は、第2ダム幅40mの切下げ(H=1.7m)を予定している。
- (2) ルシャ川河床路の状況
今年度の増水により河床路の石組みの一部が流出したため、その復旧工事及び路体改良工事(路体表面の凹凸の解消)を実施した。来年度は、引き続き河床路の耐久性、走行性等のモニタリング調査を実施する。

5 第2次検討ダムについて

- (1) オッカバケ川ダム改良
2基のダムのうち上流側の2号ダムについて、昨年度に引き続き手作業により改良(1.2mの切下げ)を実施し、全ての鋼材の切下げが完了した。来年度は、切下げ後のダム状況を検証するとともに河川変動予測等による1号ダム改良工事の工法等の検討を行う。
- (2) イウベツ川ダム改良
No.3、No.7ダムの改良案として、ダムの一部切下げと石組斜路等を組み合わせた工法が示され、今後、具体的な改良方法について検討を行う。

6 今後の予定

来年度も2回の会議開催を予定しており、1回目は現地確認を含めて7月～9月を予定しているが、スケジュールを含め幅広く検討していく。